



平成29年 6月15日



まつかわ百景 ⑩

「むらやま公園 八重桜植樹」

新たな桜の名所にしようと、八重桜の関山70本が植えられました。

2〜4面 みんな知ってる？ コス
タリカ

5面 みんなで仲良く
資料館だより

6面 スポーツ・情報
ひと・短歌・こどもの詩

7面 ぶらり生田自然探訪
視点・ペンペン草

8面

松川沿いに八重桜を植えよ
うと計画したのは、1年前の
桜の満開の時期でした。輝山
会病院の庭、天龍峡の堤防の
八重桜街道を観に行つた者は
あまりの見事さに目を見張り
ました。

地元にも高遠を始め、上片
桐竹村工業様の松
川沿い、台城にも
素晴らしい桜が沢
山あります。

植えるなら八重
桜、場所はむらや
ま公園から県道迄
の左岸約500メー
トルと決めました。
早速上片桐上段
の通称片桐3自
治会の18名に声を
掛け1回目の会合
を行いました。そ

こで代表に大澤一郎氏、事務
局を私林が引受けて12月に発
足しました。その会合に全国
的にも有名な龍江の森田和市
桜博士を招き勉強会を行いま
した。

全員の役割も決め、町作り
事業の1つとして町を通じ、

主張

八重桜の咲く日を夢見て

県からの助成金を申請の他、
高橋県議に御尽力頂き、日本
花の会より八重桜20本も頂き
ました。

現場は大きな柳の木が繁り、
竹藪もあり、大工事となりま
したが経験のある会員や業者
の方へもお願いし無事完了し

ました。水揚げが
良過ぎる為穴を掘
り肥土を客土、添
え木も万全な物を
使いました。先日
有志で植付けをし
元気に根付いてい
ます。まだまだ手
入れが大変ですが
一同力を合わせて
頑張ります。

今回の計画に対
し、気持良く入会
して頂きました会
員始め多くの方々に大変お世
話様になりました。厚く御礼
申し上げます。

いつの日か満開の桜の下で
のお花見が出来ます事を夢見
ております。

むらやま公園八重桜の会

コストリカ

位置：中米パナマ共和国の西隣り
 人口：481万人
 識字率98%で中南米で1位
 憲法：軍隊を持たない・平和主義
 教育費が国民総生産の8%を
 下回らないこと
 産業：コーヒー・果物・牧畜が盛ん
 公用語：スペイン語
 首都：サンホセ
 世界幸福度指数3年連続1位

高坂教育長は今年の1月に生活改善専門家としてコストリカに派遣され、住民生活向上支援のため、話をしてこられました。今回はその内容について教育長と編集部が懇談会を持ちました。



高坂教育長

主に話してきたことは松川町における農村開発や今の教育や子育てのこと。そして農業や健康の問題、女性の地位の向上について話し合うなど、生活改善の取り組みを進めてきたことです。

教育や子育てについては、松川中学校の生徒が膝をつきながら床を雑巾でふいたり、自分達でトイレをきれいにしたりしていること。給食の前には手を洗い、食べ物の命をいただくので手を合わせ感謝していただくこと。また脱いだ靴をそろえるなど、しつけをとっても大事にしていることを、写真を見せながら話をする、コストリカの子どもたちからは「掃除や皿洗いは罰でやらされている」という反応があった。

コストリカで生活改善に取り組んでいる人々たちからは、「犬小屋を自分で作ったり、家の周りに草花を育てたりして環境を整えている。」「肥料を作ったり、鶏や豚を飼ったりして自給自足に取り組んでいる。そんなにあわてないで一歩ずつゆっくりゆっくりやっていく。そうやって生活を楽しみながら家を新しくしたり、かまどを作ったりしている。これが私たちの喜びです。」という話があった。

価値観が私達とは違うと思ったが「満足感を感じたことがない人は満足感を教えることはできない」というオロティナ市の市長さんの言葉は印象深く感じられた。

「人の心に国境はない。」「人と人との繋がりが平和の礎となる。」ことを実感した今回の訪問であった。この経験を活かしてコストリカファンを増やしていきたいと思っている。



宮下部員

中米のコスタリカ共和国。今回、松川町がホストタウンになるまで、中南米のどこかだろう、というくらい知識がありませんでした。

町の広報、チャンネルユーなど、コストリカについて知る機会がありました。高坂教育長から生の声が聞けるチャンス。ということで、座談会でお話を伺いました。コストリカのオロティナ市



大久保部員

今回コストリカのお話を教育長からお聞きして印象に残ったこととして、主な産業は農業。たそうですが、最近観光業にも力を入れているそう。自然を生かした体験型の観光や「ルーラルツーリズム」という日本というグリーンツーリズムのような都市部から地

は、電車が有るのに車やバスが主要な交通手段で、慢性的な渋滞が続き日本のようだと感じました。

コストリカ訪問では、生活改善についての話が主になっていたようですが、松川町の歴史は古く、嫁いできた30年前に先輩の皆さんが活躍され現在も農村女性ネットワークとして継続されています。

コストリカから松川町を訪れた皆さんが、「山に囲まれた自然豊かな土地が自分達の住む所に似ている。」と話されたそう。これからの友好が長く続きそうな期待で、とても楽しみです。

方へ行きその地方の文化や農作業などを体験するといった体験型事業に力を入れているそうです。この辺りは最近の日本の物より思い出という風潮に近いのかなと思いました。

家事や掃除などといったお手伝いが罰として見られているという話にはギャップを感じました。

見せていただいた写真に写る人たちの笑顔が自然で、世界の中でも幸せを感じている人が多い国というのもうなずけると思いました。

みんな知ってる？



コスタリカと聞いて、最初、アフリカ大陸にある国だと勘違いをするほど全く今まで知りませんでした。

教育長からの説明を聞く中で、中央アメリカ南部にありパナマ運河で有名なパナマと隣接をしていることを知り驚きました。

自然豊かな面もあり、産業とすればこれからの部分があるにせよ、『世界一幸福を感じれる国』という部分が印象的でした。また、平和主義の流れとして軍隊を持たないという部分でも印象的でした。



米山部長

今回編集部で、今松川町が交流を深めているコスタリカについて話を聞くことが出来ました。

今回の勉強会で一番印象に残っていることは、コスタリカは世界一幸福感を感じる国に選ばれたことがあることです。実際のところ、先進国の生活を知っていても、現在の生活で満足感を得ているため

幸せを感じやすいのだと思えました。現地の方が写っている写真を見ても、みんなが自然と笑顔に写っていて幸せなのだと感じ、素晴らしい国民性だと思えました。日本人は常により質の高いものを求めているため、周囲の環境に支配され生きていく気がします。様々なものに追われていて、足元には見つけられていない幸せがあるかも知れないですね。

編集部として出来ることがあれば、コスタリカのことを少しでも館報を通して町民の皆さんにお知らせできればと思います。



大東部員

松川町との交流の中で、日本が経済成長する中で失ったものや、コスタリカが今までと違った形の産業が入ってきたときに良い部分が失われなような形で産業、文化、教育の部分でどんどん交流し、お互いが発展できたらと感じました。



矢野主事補

高坂教育長のお話しを通して、日本の真裏に位置する南米コスタリカの生活を垣間見て現実生活と比較し考えを巡らせました。

日本が失って来たものを強く感じました。

コーヒー栽培が主産業で成り立っている国で、松川町の風景によく似ている様です。



原部員

私は初めて公民館の活動に参加したので、松川町とコスタリカの間に交流があることを初めて知りました。

松川町からコスタリカに行ったり、写真に教育長さんと写っていた方々が松川町にたくさん来ておりとてもびっくりしました。

現在、観光であったり仕事であったりいろいろな理由で

日本には外国の方々が多いらっしゃっています。そんな中コスタリカとこのように交流を持つことは、私たちにとても松川町にとっても良いことだと思えました。

私の様にコスタリカとの交流を知らない町の人もたくさんいると思うので、コスタリカが町民にとって身近な国になるよう、これからももっと交流を深めていって欲しいです。



日本の様にもっとお金を稼いで裕福にとか「オレオレ詐欺」の様に、人を騙して良い思いをしようというものはなく、今日を皆で仲良く助け合い無理せず今の生活に満足し、庭先に野菜を作り、鶏を飼って自給自足。まるで昔の日本を見ている様です。

日本の発展はすばらしいですが、学ぶべきは、足元に満足感謝しお互い助け合う本来持っている忘れていた良き日本心を表していく時と強く感じました。



「オロティナ市長(右から2番目)と」



「オロティナ市職員の皆さんと」



スペイン語講座

スペイン語会話の基礎を学ぼう

- ◆期 日／8月23日(水)から毎週水曜日
午後7時30分～9時まで
(計7回実施)
- ◆場 所／松川町中央公民館えみりあ 学習室2
- ◆講 師／ヴァージニア・モントウリエールさん
(松川町ALT)
- ◆定 員／20名
- ◆申込み／松川町中央公民館えみりあ(36-2622)迄
無料です。
- ◆持ち物／筆記用具

松川町が東京オリンピック・パラリンピックのコスタリカのホストタウンになったことを契機に、スペイン語講座を開きます。基礎的な会話表現を学ぶことで、スペイン語で簡単なコミュニケーションをすることができたら楽しくなると思います。お気軽にご参加ください。

=東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン事業=



平成29年度 まつかわ大学 第1講座

山口香氏 講演会 意志あれば道あり

～柔道から学んだこと～

“女三四郎”と呼ばれた、ソウルオリンピック
女子柔道銅メダリスト。

講演・テレビ出演など多方面で活躍。

◆開場 / 12:45

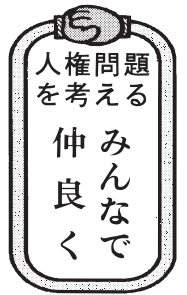
◆開演 / 13:00～15:00
(開講式を含む)

◆松川町町民体育館
トレーニングルーム

＝東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン事業＝



7月1日



北小5年 竹村 ほのか
友達と
かたをならべて
学び合う

北小5年 大澤 妃奈子
みつめると
たくさんあるよ
りっぱなところ
自分から
話してみたら
友達に

北小5年 大澤 妃奈子
みつめると
たくさんあるよ
りっぱなところ



松川町今昔 資料館だより ◆第12回◆ 「江戸時代の大火」

江戸時代の終りの慶応3年(1867)2月16日に、元大島の弥久司の端から宮坂にかけて21軒が焼けた大火がありました。今から150年前のことです。

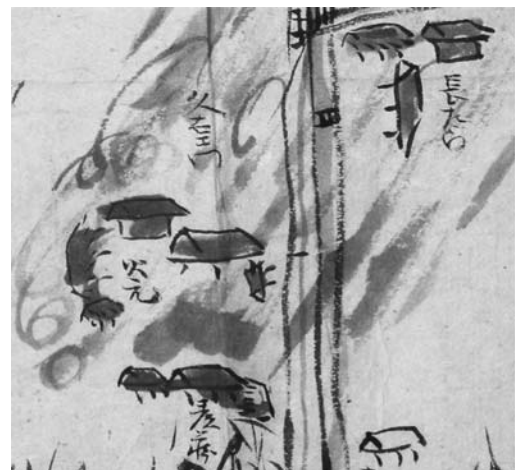
この大火に関係した史料が、松川町資料館所蔵史料の中にあります。焼けた所は、左の写真の真ん中の斜めに塗ってある部分です。記録によると、火事のあった2月16日は辰巳(南東)の方角からの風が大変強かったようです。火元になった家は、弥久司の南端に

高須藩佐出張所の手代などが、状況を調べるためにやってきて、庄屋や組頭は案内をしました。そして被災した者たちは、高須藩に拝借金を申し入れ認められました。藩では申し入れられた金を貸しただけでなく、見舞金を被災者に与えています。

ありました。強い風(つむじ風)にあおられて火は、宮坂方面に向かって広がっていききました。出火は七ツ時(午後4時前後)だったので、人の被害はなかったようです。しかし、夕方までに燃えた19軒はほぼ全焼で、類焼の2軒を含め21軒は、母屋はもちろん土蔵や納屋・便所なども焼けました。竹やぶもあちこちで燃えています。火元の家は、7間四方という大きい母屋でした。火の出た所はくりや(台所)で、土蔵の屋根やせつちん(便所)・小屋などを焼失しました。

翌17日に上新井村を治める高須藩佐出張所の手代などが、状況を調べるためにやってきて、庄屋や組頭は案内をしました。そして被災した者たちは、高須藩に拝借金を申し入れ認められました。藩では申し入れられた金を貸しただけでなく、見舞金を被災者に与えています。

と見舞がやってきました。現在の松川町の村々は勿論ですが、豊丘村・喬木村・高森町・中川村の村々からも見舞が来ました。見舞品もかなり届けられました。そして名子村・古町村・福与村の若者たちが見舞にやってきて、夜中村の米を入れてある郷蔵(ごうぞう)にいて、守ってくれたりしました。さらに古町村の村役人たちは、上新井村の村役人の所に待機して一緒に見守ってくれました。これに対し上新井村では、借りたお金を8年かけ明治7年(1874)に返済しました。またあちこちに見舞いの返礼もしています。



松川町資料館

伊坪 達郎

名子地区公民館のソフトボール、ソフトバレー大会が 5月14日に開催されました



ソフトバレー結果

りんごの部

なしの部

優勝：宗源原

優勝：南方A

準優勝：名子中部

準優勝：南方B

3位：城北

3位：北名子

3位：名子北部A

3位：下垣外西部



ソフトボール結果

優勝：城北A

準優勝：南方

3位：名子北部

3位：郷原

情報

【男女共同参画プログラム】

暮らしの知識を学ぶ講座

身近な法手続きについて学ぶ

法律における 我が家の暮らし

■ 期 日 7月25日(火) 午後7時より9時

■ 場 所 松川町中央公民館えみりあ2階
学習室1

■ 講 師 宮澤 憲司さん
(元長野地方法務局松本支局長)

■ 申込み 7月18日(火)迄に
松川町中央公民館えみりあ
TEL36-2622迄
参加無料です。

相続や登記など身近な事に関する法律については分からないことが多くあります。詳しい知識を持っている講師が、わかりやすく教えてくれます。お気軽にご参加ください。お聞きしたいことがあれば、お申し込みの際にお知らせください。

第3回 地域を知る講座

桜山不動尊・ 弥勒寺を訪ねて

■ 期 日 7月23日(日) 午前9時より11時30分

■ 集 合 午前9時

松川町中央公民館えみりあ ロビー集合

■ 研修会場 桜山不動尊・弥勒寺

■ 講 師 「おいなんよ松川」の方々

■ 定 員 20名 (町のマイクロバスで移動)

■ 申込み 7月18日(火)迄に

松川町中央公民館えみりあ

TEL36-2622迄

参加費500円 (抹茶のお礼として)

大正から昭和中期頃まで「こだまさま」のお祀りで、数万人の参詣者でにぎわったという桜山不動尊について「おいなんよ松川」の方々からお話をお聞きしたり、歴史ある弥勒寺で抹茶をいただきながらご住職のお話を聞きしたりするという、地域の宝の歴史に思いを寄せるひとときを過ごしてみませんか。



世代間交流の拠点 社会教育指導員 松村 京子さん

4月から社会教育指導員としてお勤めの松村京子さん。社会教育指導員という肩書 を聞くとなんだか堅いイメージを想像してしまう方も多いかと思いますが、実際は違います。 今まで別の業種の仕事をしていた松村さんですが、縁あって4月から社会教育指導員として、公民館活動に携わるようになってから多くを知るこ



ラーメン大好き！ 中央公民館主事 大澤 達也さん

この4月から中央公民館主事になられた大澤達也さん。新しいえみりあの玄関を入っ

てすぐ右側、中央公民館事務局で働いています。 上片桐出身で、生まれも育ちも松川町。大学以降は県外へ出られていましたが、5年前に帰郷しました。帰郷してから結婚され、町内で行事があれば奥さんと一緒によく出かけるそうです。公民館ではどちらかというと主催者側になることも多くなりますが、そうではない夏祭りなど、どこかで見かけることがあるかもしれませんね。またラーメンが好きなので、まずは飯田

下伊那のお店から制覇しているとうと楽しんでいきます。 公民館は、夜の会議も多く、とてもいそがしい仕事ですが、「人と顔を合わせる事が多く、楽しい仕事だ」と話されます。その癒し系の笑顔に思わずこちらもほほえんだなんていう方もいるのでは。

公民館では社会部、編集部を担当しており、公民館活動についても精力的に学んでいます。当館報まつかわの制作にあたって、編集部を支えてくれる頼もしい存在です。 えみりあで見かけたら「館報見たよ」と気軽に声をかけてください。

とになったそうです。このことが、物事を周知する立場になった時に知らない人の立場が分かるので、これからの活動に生かしていけると話しておられました。 公民館は世代間の交流ができる素晴らしい施設です。施設面だけでなく、公民館事業を通して人と人とを結ぶ大切な役割を担う松村さん。公民館を訪れた際には、是非とも気軽に声をかけてみてください。

短歌

竹島みち子 (新井北部)

- 一、足元の定まらぬ今シルバカー 頼る日々を幸とし生きる
- 一、何時からか数独と共に過し来し 傍えにエレピツ消しゴム置いて
- 一、新聞を配るバイクの近づくを 聞きつつ眠る如月の明け
- 一、未枯れいし庭に水仙福寿草 季を違えず春を連れくる
- 一、夜桜に誘われ出するその先に しだれ花火が流れ落ちくる



つながる家族は

たからもの

5年1組 北原 心乃美

家族はみんなつながっている つながっているからには色々ある

悲しいこと さみしいこと

うれしいこと たくさんある

でもつながっている家族がい

れば

なんでも解決できる

だから心の中のたから箱に

しまっておく

家族は大切なたからもの

温かい家族

5年1組 鎌倉 陽菜

しくしくと 泣いても

お母さんが いてくれる

何かができて うれしい時は

お父さんが ほめてくれる

やるこがなくなくとまな日は

弟がいつしよに 遊んでくれる

たとえ何があっても

家族が温かく受け入れてくれる

そんな家族が わたしは大好き



公民館 自主企画講座
「スケボー教室」



5/14(日)に開催され、定員を上回る参加があり大盛況でした。

自然への扉
ぶらり生田自然探訪

ぶらり生田自然探訪を始めるきっかけは突然やってきました。松川青年の家で行われていたプログラムが、閉校した松川東小学校でも始まりました。私は自然観察プログラムに参加して、草花で遊び、タゴガエルの声を聴き、生温かな季節になって蛍を探し、トンボを追いかけて、蝶採りをしてはセミの抜け殻を探し、暑い夏空の間沢川で遊んで水生昆虫や魚を捕まえ、水遊びをした。夜空にペルセウス座流星

群を追い、秋の虫の鳴き声と姿を探し、キノコ山にはいり、木の実をひろった。とても楽しかった。それが今年の3月でなくなってしまう。今、自然と触れ合ったり向き合ったりする時間は意識的でないとなかなか持てないような生活になっています。それはほとんどどつかにいつまっています。公的な機関が行ってきたことを有志で行うのはかなりハードルが高いです。幸い一緒に

活動してくれる仲間、強力な助っ人もでき、講師の先生方も快く協力するよと言ってくださる方も出現し、やってみるかとなりました。

五月晴れのさわやかな風の中、タゴガエルの声を聞くことで1回目スタート。シュレーゲルアオガエルの澄んだ声の中、タゴガエルを求めて間沢川の奥に入り、声を聴き、石の下をめスを探し出しました。ミツバツツジが咲き、コツバメも飛ぶ春先でした。ヤマアカガエルのおたまじやくしのお腹に渦巻きがあることを初めて知りました。池のふちにはトンボのヤゴがたくさんへばりついていて、今まさに羽化したもの、羽化最中のもの、じっとしているもの。キラキラしたお日様の光あふれる中、まさに命の誕生のただ中にわたしたちもいあわせました。テレビで見ているようなことをまだ私たちの生活圏の中では体験できるのです。よく知っている専門家が私たちのそばにいる。自然への扉を開いてくれる人たちがいる。この環境に感謝しています。地域を見つめて知るための様々な方法がありますが、自然の中に

入るのも一つの良い方法だと思っています。

代表 大田 秀子



◆今後の予定

- 6月25日(日) 蛍 蛍の光をもとめて… … (19時から21時)
- 7月15日(土) トンボ トンボがいっぱい! …… (9時から12時)
- 7月22日(土) 蝶 チョウもいっぱい!! …… (9時から12時)
- 8月7日(日) セミ セミがいっぱい!!! …… (9時から12時)
- 8月19 or 20 間沢川 川遊び♪ …………… (9時から12時)
- 8月25日(金) 星 天の川みえるかな☆彡… (19時から21時)

草

先日「フォレストアドベンチャー・松川」に子どもと一緒に行ってきました。オープンして4年目になりますが、利用条件が小学4年生以上、または身長140センチ以上ということで、オープン当初は子どもが行けなかったのですが、いよいよ子どもがその利用条件をクリアし、一緒に行くことができました。私はフォレストアドベンチャー・松川がオープンしたばかりのころ、この館報まつかわの取材で体験しています。ようやく子どもと一緒に体験できましたし、楽しんでくれていました。コースによっては少々難易度が高いものもあるのですが、そこをがんばってクリアしていくのは楽しく、また、子どもががんばる姿を見られるのもうれしいものです。こんなに近くにあるのに行かないのはもったいないですよ!

光澤 正之

公民館報
「まつかわ」
 第 644 号
 平成29年6月15日
 発行所 松川町公民館
 責任者 小 沢 誠
 編集人 公民館編集部
 Tel 36-2622
 e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp
 飯田市上郷黒田121
 印刷所 龍共印刷(株)